

サムスンのベトナム投資拡大と政府の支援強化

2025年3月6日 作成

カテゴリ ベトナム経済 外国直接投資（FDI）

サムスンのベトナム投資拡大と政府の支援強化

サムスン・ベトナムは、新たな分野への投資拡大を計画し、引き続きベトナム政府の支援を求めている。

同社はベトナム最大の外国直接投資（FDI）企業であり、登録資本は232億米ドルに達する。

2024年の売上高は625億米ドル、輸出額は544億米ドルで、300社以上のベトナム企業と取引を行っている。

2025年2月12日に行われたファム・ミン・チン首相との会談で、サムスン・ベトナムの代表であるチエ・ジュホ氏と後任のナ・ギホン氏は、投資の継続と新規分野への拡大を表明した。また、ベトナム政府に対し、引き続き同社の事業活動を支援するよう要請した。

ファム・ミン・チン首相は、ベトナム政府がサムスンの投資環境を改善し、持続的かつ成功する事業運営を支援すると述べた。特に、サムスンにはリーダー企業としての役割を維持し、産業支援、半導体、科学技術、デジタル変革の分野での発展を牽引することを期待している。

政府は2025年に最低8%の経済成長を目指し、長期的には二桁成長を達成する方針である。そのため、投資環境のさらなる改善と戦略的改革を推進し、経済成長を加速させることを強調した。

首相はサムスンに対し、ベトナムの国家革新創造センターと連携した人材育成、研究開発センター（R&D）の拡大、スタートアップやイノベーションの支援を求めた。また、サムスン・ベトナムの経営陣にベトナム人を登用するよう提案し、国内企業の能力向上を支援し、サムスンのグローバルサプライチェーンへの参加を促すことも求めた。

さらに、ベトナムのデジタル企業をサムスンのエコシステムに統合し、相互協力を強化することの重要性を強調した。今後、サムスンとベトナム政府は、より密接に連携しながら持続可能な成長を目指していく方針である。

以上